

コンパクトレンジ

K-300	K-500
T 101	T 102

取扱注意事項

この度は、サンクトクバーナーをお買上げいただき、誠にありがとうございます。この商品はガスを取り扱う器具ですので、ご使用前に必ずこの取扱注意書をお読みいただき、正しく安全にご使用いただきますようお願い申し上げます。

この商品は業務用です！

サンクトクの商品は業務用として設計されており、通常の家庭用コンロより火力が強力です!! この事を常に意識していただき、調理中にその場を離れたり、お子様に使用させたりするのは危険ですので止めて下さい。

設置上の注意

- ① 当器具銘板の表示ガス(ガスグループ)と、ご使用になるガスと同一であることを確認の上、設置して下さい。
 - ①注1 銘板は器具の正面右側に表示してあります。
 - ①注2 ガス種が異なる場合は、ご使用にならずに器具をお取替え下さい。
 - ①注3 プロパンガス(LPG)ご使用の際は、ガス圧表示(注1)に従って低圧の範囲内でご使用下さい。
- ② 壁等が可燃性の場合(断熱材使用の場合も)、可燃物より200mm以上離して設置して下さい。
- ③ 床面は不燃構造とすること。
- ④ ゴム管の接続は、正しく奥まで差込み、ゴム管止めにシツカリ固定して下さい。
 - ④注1 「JISマーク」のゴム管(ガス用)をご使用下さい。
 - ④注2 折れやねじれ、引っ張りなどのないよう、必要限度の長さでご使用下さい。
 - ④注3 ゴム管が器具に触れたり、器具の下を通したりしないように正しく接続して下さい。
- ⑤ T101 T102 バーナー炎口部が取外し可能な火皿形状になっておりますので、火皿の山型形状が上になるように本体のリング状の溝にはめ込み、ズレない状態に火皿が正しくセットされているかをご確認下さい。

使用上の注意

K-300	K-500	T 101	T 102
-------	-------	-------	-------

- ① 点火時は、必ず調理に使用する鍋等を、ゴトクの上に載せてある状態で、パイロットバーナー(種火)に点火させていることを確認の上、メインバーナーに着火させて下さい。
- ② 弱火使用の際は、種火が点火している範囲(ツツミを右回転させて「カチッ」と音がするとこの時まで)内で使用し、種火が点火していることを常に確認して行って下さい。

使用上の注意

K-300	K-500	T 101	T 102
-------	-------	-------	-------

- ③ 空気調整は、固定式バーナーですので、固定式バーナーにて行います。従って最初の点火テストを行って下さい。
- ④ バーナーにかぶせてある燃焼カババーは、必ず、常に外さずにご使用下さい。

燃焼カババー

火力調整・ON-OFF方式とろ火は使用できません

- ⑤ ご使用中は、危険ですので器具のそばを離れないで下さい。
- ⑥ ご使用中及び直後は、器具の温度が高くなりますので、ガスコック以外には触れないで下さい。
- ⑦ 狭い部屋・締め切った部屋での使用や長時間のご使用時には、必ず部屋の換気が必要です。時々窓を開けたり換気扇を回して換気を行って下さい。
- ⑧ 消火時は、バーナーコックを完全に閉じ、必ず消火を確認し、使用後は、必ず元コックも閉めて下さい。

日常の点検・お手入れの注意

K-300	K-500	T 101	T 102
-------	-------	-------	-------

- ① 点検・お手入れは、器具が十分に冷えてから行って下さい。
- ② レンジ本体のステンレス切り口に、直接手を触られる際には、手を切ることもありえますので充分にご注意下さい。
- ③ 燃焼カババー・汁受け皿は、常にキレイな状態を保つように、時々はお掃除等のお手入れを行って下さい。
- ④ バーナーの炎口部は、煮こぼれ目づまりをしていない状態にしてください。正常に燃焼したいし、時折細かい針金等で、目づまり掃除を行って下さい。
- ⑤ ゴム管が古くなってひび割れたり・折れ曲がったり・器具に触れていたり、元コックやゴム管口に充分に差込まれていないか、時折点検して下さい。

①注1 火皿はアミ目の部分に煮こぼれが付着したままでも使用になり、アミの消耗が早くなります。金ブラシ等でアミ目の掃除を行って下さい。

③注1 火皿はアミ目の部分に煮こぼれが付着したままでも使用になり、アミの消耗が早くなります。金ブラシ等でアミ目の掃除を行って下さい。

④注1 火皿の掃除にしても炎のバラつきがある場合は、バーナー本体等の掃除が必要です。バーナー本体はメインコックへの差込み式ですので、取外して煮こぼれ等の掃除をして下さい。